

「十字架上での最初の3時間(2)」

ヨハ 19 : 18~27

1. はじめに

(1) 文脈の確認

- ① イエスは、刑場(ゴルゴタ)に着いた。
- ② 午前9時から正午までの3時間
* 人の怒りを体験する時間
- ③ 正午から午後3時までの3時間
* 神の怒りを体験する時間
- ④ 今回は、最初の3時間の後半について学ぶ。

(2) A. T. ロバートソンの調和表

§ 164 十字架上での最初の3時間

マコ 15 : 24~32、マタ 27 : 35~44、ルカ 23 : 33~43、ヨハ 19 : 18~27

2. アウトライン

- (1) あざけりを受けるイエス
- (2) 信仰を告白する罪人
- (3) 第2のことば
- (4) 第3のことば

3. 結論 :

- (1) あざけりの深い意味
- (2) 救いに至る信仰
- (3) 死後の命

十字架での最初の3時間の意味について考えてみよう。

I. あざけりを受けるイエス

1. マコ 15 : 29~30

Mar 15:29 道を行く人々は、頭を振りながらイエスをののしって言った。「おお、神殿を打ちこわして三日で建てる人よ。

Mar 15:30 十字架から降りて来て、自分を救ってみろ。」

- (1) 「道を行く人々」、つまり群衆がイエスをののしった。
 - ① イエスが十字架に付けられた刑場は、門の近くに位置していた。

②祭りを祝うために、人々はこの門を通過して町の中に入っていた。

③ののしりとは、言葉による暴力である。

④ののしりの際に頭を振るのは、当時の一般的な行為である。

*詩22:7、109:25、エレ18:16、哀2:15

(2) 彼らは、イエスによるメシア性の主張をののしった。

①「神殿を打ちこわして三日で建てる人よ」

*ヨハ2:20~22、マタ26:61 参照

③彼らは、十字架から降りて来て、自分を救えと言った。

(3) 詩22:7の成就

Psa 22:7 私を見る者はみな、私をあざけります。／彼らは口をとがらせ、頭を振ります。

2. マコ 15:31~32a

Mar 15:31 また、祭司長たちも同じように、律法学者たちと一緒になって、イエスをあざけて言った。「他人は救ったが、自分は救えない。」

Mar 15:32a キリスト、イスラエルの王さま。今、十字架から降りてもらおうか。われわれは、それを見たら信じるから。」

(1) サドカイ人とパリサイ人が一緒になって、イエスをあざけた。

①ルカ23:35には、「指導者たち」とある。

(2) あざけりの内容は、イエスによるメシア性の主張である。

①「キリスト、イスラエルの王さま」

②「今、十字架から降りてもらおうか。われわれは、それを見たら信じるから」

3. ルカ 23:36~37

Luk 23:36 兵士たちもイエスをあざけり、そばに寄って来て、酸いぶどう酒を差し出し、

Luk 23:37 「ユダヤ人の王なら、自分を救え」と言った。

(1) イエスが、罪の赦しを祈った者たちが、イエスをあざけた。

4. マコ 15:32b

Mar 15:32b また、イエスと一緒に十字架につけられた者たちもイエスをののしった。

(1) イエスの両側で十字架につけられた犯罪人たちも、最初はイエスをののしった。

II. 信仰を告白する罪人

1. ルカ 23 : 39~41

Luk 23:39 十字架にかけられていた犯罪人のひとはイエスに悪口を言い、「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え」と言った。

Luk 23:40 ところが、もうひとりのほうが答えて、彼をたしなめて言った。「おまえは神をも恐れぬのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。」

Luk 23:41 われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。」

(1) 犯罪人のひとり

- ①イエスのメシア性の主張をあざけた。
- ②キリストなのだから、自分を救い、私たちを救えと言った。

(2) もうひとりの犯罪人

- ①心の変化を体験した。
- ②悪口を言う仲間をたしなめ、神を恐れよと忠告した。
- ③彼は、自分たちは当然の報いを受けていることを認めた。
- ④そして、この方(イエス)はそうではないと言った。

2. ルカ 23 : 42

Luk 23:42 そして言った。「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。」

(1) 彼は、イエスに信頼した。

- ①間もなく死のうとしているイエスが、いつか御国の位に着くと信じた。
- ②「御国」とは、キリストが地上に設立する王国である。

III. 第2のことば

1. ルカ 23 : 43

Luk 23:43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

(1) イエスは、彼の信仰に応えた。

- ①「きょう」。長く待つ必要はない。すぐに祝福が与えられる。
- ②「わたしとともに」。素晴らしいお方が同行してくださる。
- ③「パラダイスにいます」。最高の場所が約束された。

IV. 第3のことば

1. ヨハ 19 : 25~27

Joh 19:25 兵士たちはこのようなことをしたが、イエスの十字架のそばには、イエスの母と母の姉妹と、クロパの妻のマリヤとマグダラのマリヤが立っていた。

Joh 19:26 イエスは、母と、そばに立っている愛する弟子とを見て、母に「女の方。そこに、あなたの息子がいます」と言われた。

Joh 19:27 それからその弟子に「そこに、あなたの母がいます」と言われた。その時から、この弟子は彼女を自分の家に引き取った。

(1) 十字架のそばに4人の婦人が立っていた。

①イエスの母マリア

②母の姉妹(サロメ)

*サロメは、ヤコブとヨハネの母である(マタ 27 : 55)。

*つまり、ヤコブとヨハネは、イエスの従弟である。

③クロパの妻マリア

*母マリアの義理の姉妹。伝承では、クロパはヨセフの兄弟

*クロパの妻マリアは、マコ 15 : 40 では小ヤコブとヨセの母である。

④マグダラのマリヤ

(2) イエスは、母マリアの世話をヨハネに委ねた。

①母親の世話をすることは、長子の責務である。

②イエスの4人の弟たちは、まだ信者ではなかった。

*イエスも家族伝道には苦勞された。

③ヨハネは、その命令に忠実に従った。

(3) このことばの霊的意味

①イエスは、マリアとの肉体的な親子関係を断ち切った。

②これ以降、マリアにとってイエスは、「主イエス・キリスト」となる。

③使 1 : 14 で120人の中にマリアが登場する。

*これが最後で、それ以降は登場しない。

結論 :

1. あざけりの深い意味

(1) 4つのグループは例外なしに、イエスのメシア性の主張をあざけた。

(2) メシア性を証明するために、十字架から降りて来いと迫った。

- (3) これは、サタンの最後の誘惑である。イエスを十字架から下そうとしている。
- (4) イエスは、十字架にとどまることによってご自身のメシア性を証明された。

2. 救いに至る信仰

(1) ルカ 23 : 39~42

Luk 23:39 十字架にかけられていた犯罪人のひとはイエスに悪口を言い、「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え」と言った。

Luk 23:40 ところが、もうひとりのほうが答えて、彼をたしなめて言った。「おまえは神をも恐れぬのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。」

Luk 23:41 われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。」

Luk 23:42 そして言った。「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。」

- ①彼は、自分が罪人であることを認めた。
- ②彼は、イエスには罪がないことを認めた。
- ③彼は、イエスが自分を救えると信じた。
- ④彼は、イエスが死にかけているにもかかわらず、やがて王になると信じた。
- ⑤以上は、この時点で彼が知り得た信仰の内容である。
- ⑥彼は、信仰と恵みによって救われた。

(2) 1 コリ 15 : 3~5

1Co 15:3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであり、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、

1Co 15:4 また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、

1Co 15:5 また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです。

- ①以上が、今の私たちが信じなければならない内容である。

3. 死後の命

(1) ルカ 23 : 43

Luk 23:43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

- ①この犯罪人は、死ぬとパラダイス行く。
 - *信仰によって救われたから。
- ②パラダイスとは、アブラハムのふところと呼ばれた場所である。
- ③そこは、ハデス(死者の魂が行く場所)の中の「慰めの場所」である。

④イエスが昇天して以降は、パラダイスは第3の天に移された。

(2) 十字架は、人の永遠の運命を決定するものである。

①救いは、普遍的なものではない。

②信仰を発揮するかどうかで、永遠の運命が決まる。